

年間指導計画 1年

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
学習編				
4月	1. 楷書の書き方を確かめよう			
	漢字の筆使い（教科書P10-11） ◎点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ]	毛筆 2	1 漢字を構成する点画の名称を教科書に書き込む。 2 漢字の筆使いのポイントを教科書に書き込む。 3 「学習の窓」を見て、漢字の筆使いのポイントを確かめる。 4 漢字の筆使いを意識して、毛筆で「地球」を書く。 5 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「地球」「探究」「現代」を書く。	【知】点画の種類を確かめ、漢字の筆使いに注意して書いている。 【思】(毛筆で「地球」を書くなかで、漢字の筆使いを確かめている。) 【態】進んで(1)漢字の筆使いに注意し(3)、学習課題に沿って(2)「地球」を書こうとしている(4)。
5月	漢字の字形（教科書P12-13） ◎字形の整え方を理解して、楷書で書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ]	硬筆 1	1 硬筆で「青葉」の試し書きをする。 2 字形を整えて書くポイントを教科書に書き込む。 3 字形を整えて書くポイントを意識して、硬筆で「青葉」のまとめ書きをする。 4 試し書きとまとめ書きを比較し、字形を整えるという観点で向上した点を確認する。 5 「学習の窓」を見て、漢字の字形を整えて書くためのポイントを確かめる。 6 字形を整えて書くポイントを意識して、教科書P13上段の漢字を硬筆で書き込む。 7 教科書P13下段の漢字の部分の筆順を確かめ、硬筆で書き込む。	【知】字形の整え方を理解して、楷書で書いている。 【思】(硬筆で漢字を書くなかで、字形の整え方を確かめている。) 【態】進んで(1)字形の整え方を確かめ(3)、小学校での学習を生かしながら(2)楷書で書こうとしている(4)。
2. 楷書に仮名を交えて書こう				
6月	平仮名の筆使いと字形（教科書P14-15） ◎楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書くことができる。[知技(3)ア・エ(ア)]	毛筆 2	1 「いろは歌」や平仮名の成立について理解する。 2 「学習の窓」を見て、平仮名の筆使いと字形のポイントを確かめる。 3 「結び」の書き方の違いを確かめる。 4 墨のすり方を確かめる。 5 平仮名の筆使いや字形を意識して、小筆で「いろは歌」を書く。	【知】楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して、整えて書いている。 【思】(小筆で「いろは歌」を書くなかで、楷書に調和する仮名の筆使いや字形を確かめている。) 【態】積極的に(1)楷書に調和する仮名の筆使いや字形に注意して(3)、学習課題に沿って(2)「いろは歌」を書こうとしている(4)。
	文字の大きさと配列（教科書P16-17） ◎文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書くことができる。[知技(3)ア・エ(ア), (1)イ]	毛筆 2	1 文や文章を読みやすく書くポイントを教科書に書き込む。 2 「学習の窓」を見て、文や文章を読みやすく書くための、文字の大きさや配列のポイントを確かめる。 3 文字の大きさや配列、用紙に対する文字の大きさを意識して、小筆で俳句を書く。	【知】文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書と楷書に調和する仮名で書いている。 【思】(決められたサイズの用紙に俳句を書くなかで、文字の大きさ、配列などを確かめている。) 【態】進んで(1)用紙に合った文字の大きさ、配列などについて考え(3)、学習課題に沿って(2)小筆で俳句を書こうとしている(4)。
7月	楷書と仮名のまとめ（教科書P18-19） ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。[知技(3)エ(ア), (1)イ]	硬筆 1	1 これまでに学習したこと(楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／文字の大きさと配列)を意識して、硬筆で「海鳥がいる。……」の試し書きをする。 2 試し書きと教材文字を比較し、これまでに学習したことを意識して書くことができたと振り返る。 3 横書きの書き方と、速く書くときの「許容される書き方」、片仮名の筆使いを確かめる。 4 これまでに学習したことと横書きの書き方、片仮名の筆使いを意識して、「シダ植物の特徴」を硬筆で書く。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】(縦書きと横書きで文章を書くなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】進んで(1)習得した知識・技能を振り返り(3)、今までの学習を生かして(2)縦書きと横書きで文章を書こうとしている(4)。

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
	<p>【コラム】文字の歴史を探る (教科書 P20-21)</p> <p>◎漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解することができる。</p> <p>[知技(3)エ(ア)・(イ)]</p>	<p>知識</p> <p>1</p>	<p>1 漢字には 3000 年以上の歴史があり、時代とともにさまざまな書体が誕生したことを知る。</p> <p>2 日本独自の文字である仮名が、漢字を元にして誕生したことを知る。</p>	<p>【知】漢字の書体の変遷や仮名の成立について理解している。</p> <p>【思】(コラムを読むなかで、文字の歴史を確かめている。)</p> <p>【態】積極的に(①)文字の歴史を知ろうとし(③)、学習課題に沿って(②)漢字の書体の変遷や仮名の成立に関する知識を得ようとしている(④)。</p>
9月	3. 行書の書き方を学ぼう			
	<p>行書の特徴 (教科書 P22-25)</p> <p>◎漢字の行書の特徴を理解することができる。[知技(3)エ(イ), A(1)オ(2)イ]</p>	<p>毛筆</p> <p>2</p>	<p>1 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ、話し合う。</p> <p>2 楷書と行書で書かれた「緑」を指でなぞり、筆使いの違いを感じ取る。</p> <p>3 「学習の窓」を見て、行書の特徴を確かめる。</p> <p>4 楷書と行書の「横画」を毛筆で書き、筆使いの違いを理解する。</p> <p>5 行書の特徴を意識して、硬筆の「緑」をなぞり書きする。</p>	<p>【知】漢字の行書の特徴を理解している。</p> <p>【思】(楷書と行書を比較し、行書で書かれた「緑」をなぞるなかで、行書の特徴を確かめている。)</p> <p>【態】積極的に(①)楷書と行書の違いを考え(③)、学習課題に沿って(②)行書の特徴を話し合おうとしている(④)。</p>
10月	<p>点画の方向や形の変化 (教科書 P26-27)</p> <p>◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の方向や形の変化)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]</p>	<p>毛筆</p> <p>3</p>	<p>1 楷書と行書で書かれた「木立」を比較して、点画の方向や形の違いを見つけ、話し合う。</p> <p>2 行書で書かれた「木立」の点線をなぞり、点画の方向や形が楷書と異なる理由を話し合う。</p> <p>3 「木」「立」を構成する点画の方向や形の変化を確認し、同じ点画を含む他の漢字を硬筆でなぞる。</p> <p>4 「学習の窓」を見て、点画の方向や形が変化する理由と、主な変化のしかたを確かめる。</p> <p>5 点画の方向や形の変化を意識して、毛筆で「木立」を書く。</p> <p>6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「木立」「天文」「水分」を書く。</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の方向や形の変化)を理解して、身近な文字を書いている。</p> <p>【思】(毛筆で「木立」を書くなかで、行書の特徴<点画の方向や形の変化>を確かめている。)</p> <p>【態】進んで(①)行書の書き方(点画の方向や形の変化)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「木立」を書こうとしている(④)。</p>
11月	<p>点画の連続 (教科書 P28-29)</p> <p>◎漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]</p>	<p>毛筆</p> <p>3</p>	<p>1 楷書と行書で書かれた「月光」を比較して、点画が連続している部分を見つけ、話し合う。</p> <p>2 連続させるときの留意点を確かめる。</p> <p>3 「月」「光」に見られる点画の連続を確認し、同じ種類の連続を含む他の漢字を硬筆でなぞる。</p> <p>4 「学習の窓」を見て、点画が連続する理由と、主な連続のしかたを確かめる。</p> <p>5 点画の連続を意識して、毛筆で「月光」を書く。</p> <p>6 毛筆で学習したことを生かして、硬筆で「月光」「文庫」「規則」を書く。</p>	<p>【知】漢字の行書の基礎的な書き方(点画の連続)を理解して、身近な文字を書いている。</p> <p>【思】(毛筆で「月光」を書くなかで、行書の特徴<点画の連続>を確かめている。)</p> <p>【態】進んで(①)行書の書き方(点画の連続)を理解し(③)、学習課題に沿って(②)「月光」を書こうとしている(④)。</p>
12月	<p>行書の練習 1 (教科書 P30-31)</p> <p>◎漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書くことができる。[知技(3)エ(イ), (1)イ]</p>	<p>硬筆</p> <p>2</p>	<p>1 点画の種類や組み合わせによる点画の方向や形の変化、連続のしかたのパターンを覚え、その点画を含む漢字を硬筆でなぞる。</p> <p>2 行書には多様な書き方があることを確かめる。</p> <p>3 設問②の空欄に当てはまる漢字を選び、点画の方向や形の変化、連続のしかたに注意して硬筆で書き込む。</p>	<p>【知】漢字の行書の書き方を理解して、読みやすく速く書いている。</p> <p>【思】(硬筆で行書を覚えるなかで、行書の書き方を確かめている。)</p> <p>【態】積極的に(①)行書の書き方を覚えて(③)、今までの学習を生かしながら(②)①②の課題を書こうとしている(④)。</p>

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
1月 2月 3月	<p>【コラム】季節のしおり 1 (教科書 P32-33)</p> <p>◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。【知技(3)エ(ア)・(イ)】</p> <p>○季節にまつわる詩歌や言葉など、伝統的な言語文化を書いて味わうことができる。【知技(3)ア, (1)イ】</p>	<p>硬筆</p> <p>1</p>	<p>1 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。</p> <p>2 これまでに学習したこと(楷書の筆使いと字形／平仮名の筆使いと字形／行書の特徴／文字の大きさと配列)を意識して、楷書・平仮名、行書で書かれた季節の言葉を硬筆でなぞる。</p>	<p>【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。</p> <p>【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで、今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。)</p> <p>【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)、今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。</p>